

夜須に連り、峯を越て嘉摩郡に隣りし西北那珂席田郡につゝき、粕屋には小山を隔てつゝけり。古昔は官府のありし地にして、異國の藩屏として、九州の政を統べ行ひし所なれば、太宰の帥以下數多の官府玄ばく交代せし故、遺蹟古跡甚の如くしき、星の如くつらなれり、其地たる東西に高峯連り聳へ、南北は他郡の平原の地に通せり、泉清く土肥たり、古代の遺風にや、民俗いやしからず。

〔日本書紀神功〕九年○仲三月戊子、皇后功○神欲擊熊鷺、而自櫛日宮遷于松嶽宮、時飄風忽起、御笠墮風、故時人號其處曰御笠也。

〔續日本紀元明〕和銅二年六月乙巳、筑前國御笠郡大領正七位下宗形部堅牛、賜益城連姓。  
〔大内家壁書〕從山口於御分國中行程日數事○中  
筑前國○中略

寛正二年六月廿九日

備中守秀明○下

〔倭名類聚抄九〕怡士郡 鮑田多久 託杜○杜、高山寺本作社、大野於保、長野奈加雲須久毛良人 石田伊之

石田伊之

寺本○伊之木、高山海部

寺本○伊之木、高山海部

早良郡

石田伊之

志摩郡 韓良 久米 登志度明敷安加雞永 川邊 志麻

寺本○伊之木、高山海部

石田伊之

早良郡 比伊比能解乃額田奴加早良佐波平群倍久利田部多倍○高山寺本

石田伊之

那珂郡 田來 曰佐 那珂 良人 海部 中島 三宅 山口久知板曳比岐多

石田伊之

席田郡 石田伊之 大國○於爾新居井比

石田伊之

糟屋郡 香椎加須志阿 廚戶 大村○於良池田 阿曇 桀原久波勢門止敷梨

石田伊之

宗像郡 秋安山田也萬怡士度荒自阿良野坂乃佐荒木安貞海部萬席內牟之路深田布加蓑生乃美

石田伊之

布辛家 小荒 大荒 津九